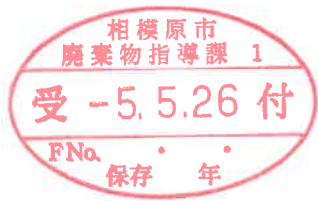


産業廃棄物処理計画書

令和5年5月25日

相模原市長 殿



提出者

住 所 神奈川県川崎市川崎区浅野町1番17号

氏 名 第一コンクリート 株式会社  
代表取締役社長 市瀬 明宏  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 044-322-5541

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	第一コンクリート 株式会社 相模原工場	自主管理番号	( 5733 )
事業場の所在地	相模原市中央区南橋本4丁目2番27号	TEL(連絡先):	
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	E21一窯業・土石製品製造業 (具体的には) その他の窯業・土石製品製造業		
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	1,237 百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載してください。)		
③ 従業員数	11		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	① 余剰コン及び洗浄水をスラッジ水と骨材に分離する。 ② スラッジ水を脱水処理し上澄水と脱水ケーキにする。 ③ 上澄水は再利用、脱水ケーキは処理業者に依頼し、処分する ④ 余剰コンの一部は汚泥処理業者に依頼し、処分する		

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括管理者: 高橋 一

産業廃棄物処理(中間処理設備技術管理士)責任者: 高橋 一 → 保管管理責任者・マニフェスト発行責任者: 榊原 浩

- ① 収集運搬先: 鷹取建材(株) → 最終処分(リサイクル)契約先: (有)関戸商事
- ② 収集運搬先: (株)日興 → 最終処分(リサイクル)契約先: 大森産業(株)
- ③ 収集運搬先: (株)関戸産業 → 最終処分(リサイクル)契約先: 前田道路(株)
- ④ 収集運搬先: 湘南第一運輸(株) → 最終処分(リサイクル)契約先: 大森産業(株)
- ⑤ 収集運搬先: (株)ダストソリューション → 最終処分(リサイクル)契約先: (株)ダストソリューション

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和 4 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類数	3	種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	5,313.7	t	
	(これまでに実施した取組)			
	1. 公害防止管理規格での管理 2. 戻りコンクリートの適正管理 3. 廃棄物管理票(マニフェスト)の作成管理 4. スラッジ水の有効利用(ミキサ車ドラム洗浄時) 5. 回収骨材の路盤材としての売買契約 6. 関連資格(産業廃棄物中間処理施設技術管理士)取得の推進			
② 計画	【(令和 5 年度)目標】			
	産業廃棄物の種類数	3	種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	6,003.0	t	
	(今後実施する予定の取組)			
	受注時に数量等の確認を徹底する。 製品(生コン)納入にあたり、現場での打設状況把握等連絡を密に実施し、余剰コンクリートを削減する。 視測定を充実させ不合格品としての返品を防止する。 生コンクリート協同組合で、戻りコンの削減対策を強化。 回収骨材の再利用への検討。 洗車時の使用水の減少。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	保管場所による区別	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
② 計画	(これまでに実施した取組)			
	生コンクリートの製造販売から発生する産業廃棄物は、製造工程において再利用しない。			
	【(令和5年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t * 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	5,313.7	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	5,313.7	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。		
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【(令和 5 年度)目標】			* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑩ 全処理委託量	6,003.0	t	
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	6,003.0	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	
	(今後実施する予定の取組)			
社内規定の公害防止管理規定や、産業廃棄物処理内規の徹底、社員教育の実施				
※ 事務処理欄				

## 備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。  
また、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

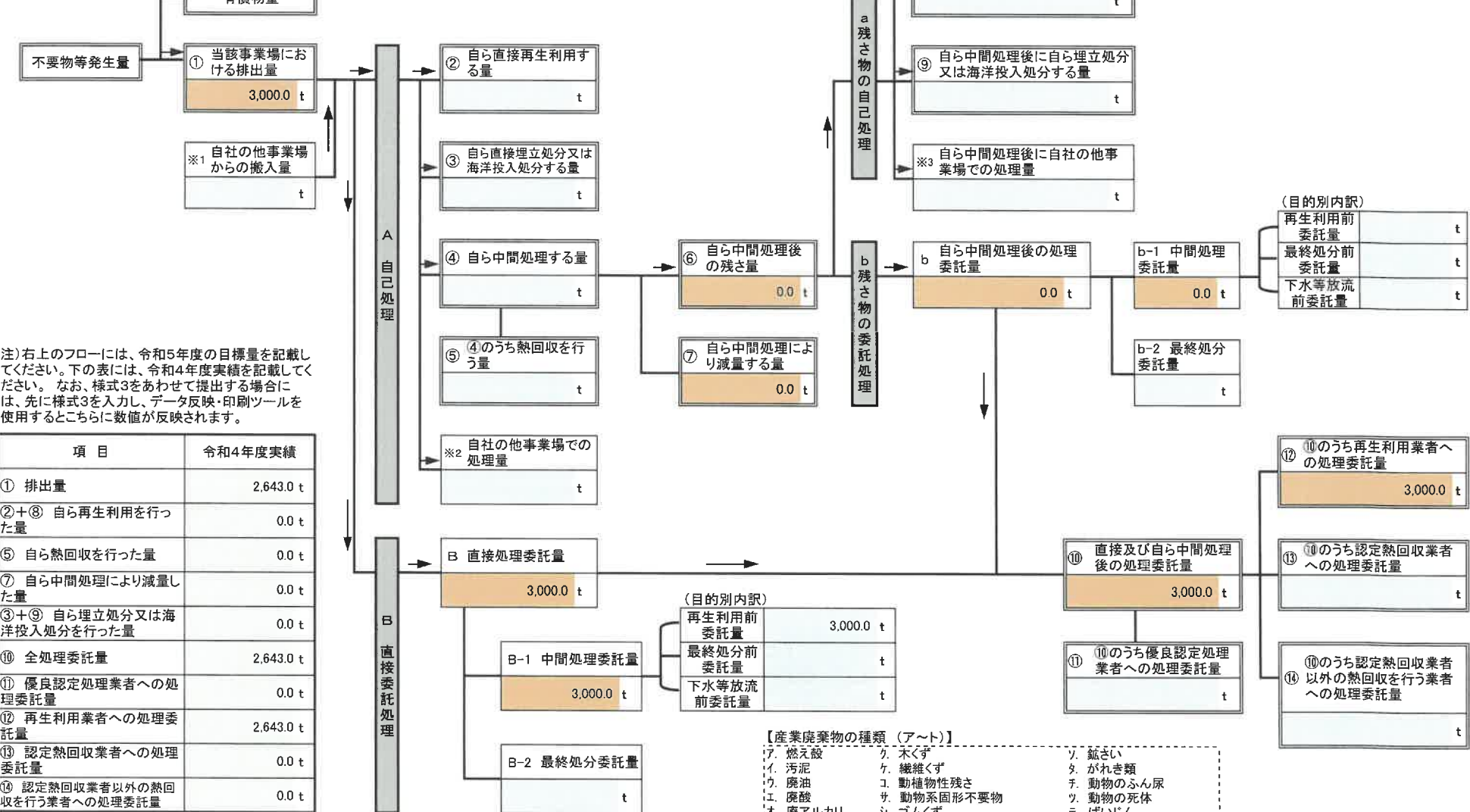
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとここに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	2,643.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2,643.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,643.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



産業廃棄物処理計画書

2-2

法定

自主

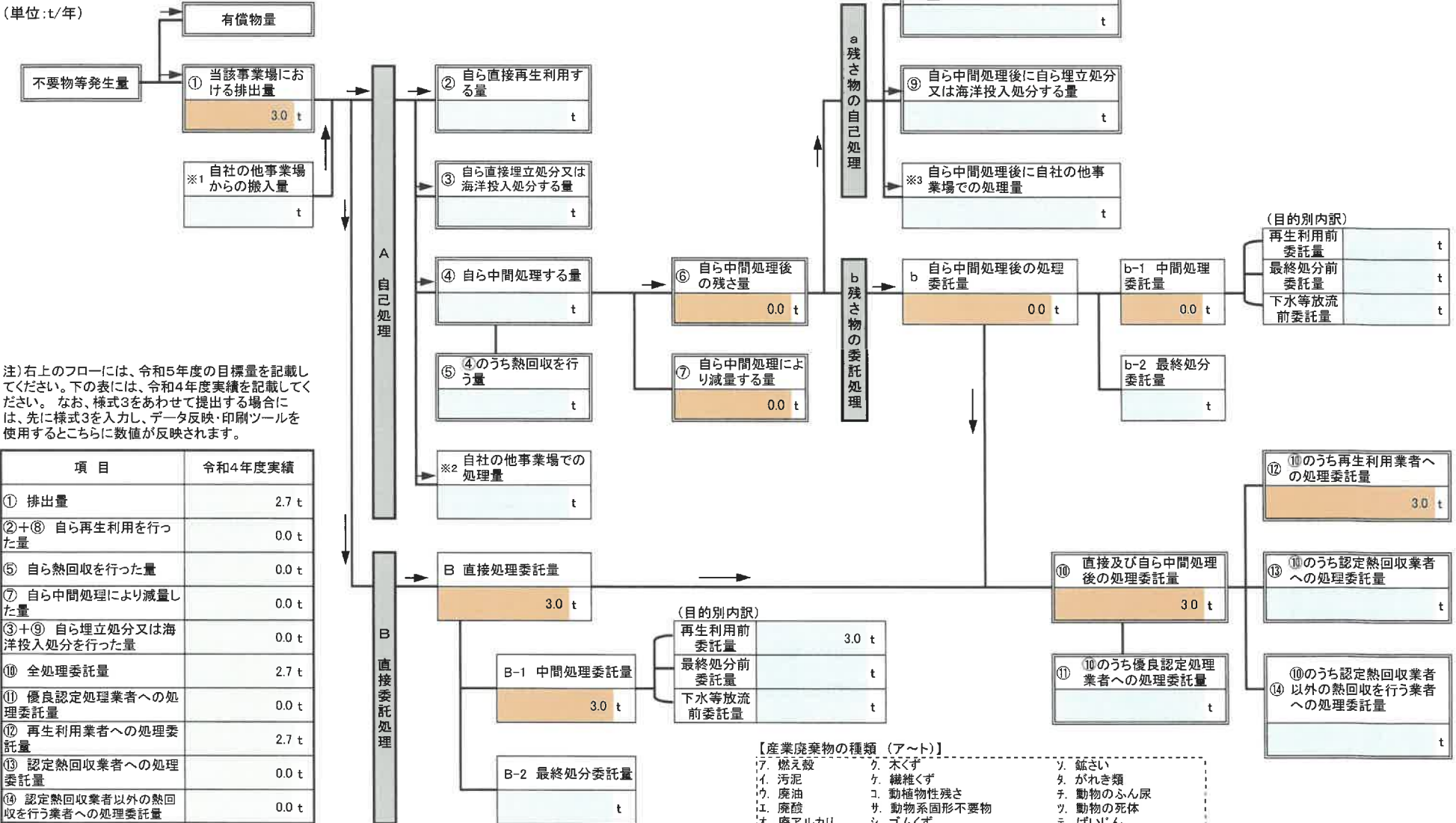
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	カ. 廃プラスチック類
------------------	-------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)





産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

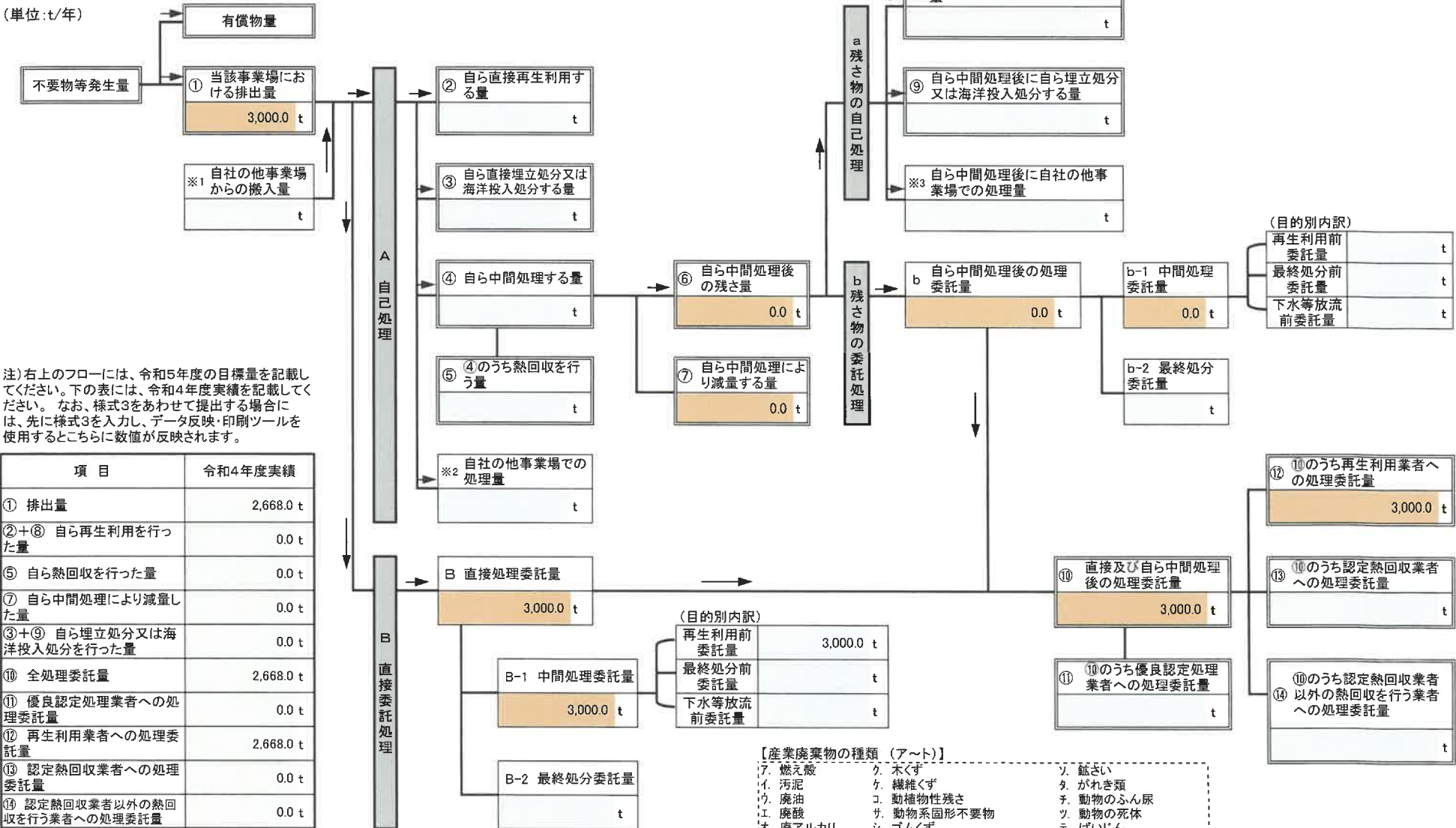
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
------------------	---------------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



2-1	法定	自主
	○	

事業場名称: 第一コンクリート 株式会社 相模原工場

(単位:トン)

[illegible]